

沖縄県議団が 9時間かけて 到着

さっそく支援物資のお届けを行いました



三浦震災・救援対策センター本部長に
救援物資を手渡す沖縄県議団

五月三十一日、沖縄県議団（嘉陽宗儀がようそうぎ団長）五名と予定候補の総勢六名が、空路・陸路の九時間かけて救援センターに到着しました。

さっそく救援物資の「お届け隊」を、水沢市議の案内で、三ツ股・築山・大街道南地域の三地域で行いました。

野菜、米、日用品を配布すると、一時間半ですべて配布しました。「実は昨日野菜などの物資がないかと電話したら、すぐ来てくれた。本当にありがたい」などの声が寄せられました。

参加者からは、「まだまだこれからなんだなと思った。食料品は毎日のことなので、大変喜ばれた。来てよかった。今後も支援を強めたい」と行動の感想を寄せています。



5月31日 物資お届け



5月29日 泥出し作業 湊地域



5月30日 お米と野菜の小分け作業



5月29日 物資のお届け 湊地域

石巻、東松島
女川、南三陸

5月の支援ボランティアのべ2000人

日本共産党
と民主団体

救援物資 続々到着

千葉の各地、農民連、埼玉、大阪

全国から救援物資が続々と到着しています。

この間では、お米、日持ちの良い野菜類、トイレッ トペーパーやタオルなどの日用品です。

千葉県八千代市の小林えみ子さんから届いたお手紙の一部を紹介します。

「私も気持ちだけは飛んで生きたい気分ですが、六月一日から議会が始まります。議会後私のようなものでも出来ることがあります。たら、二泊三日くらいはお手伝いに行きたいと思っています」。